



【インスリン自己注射の針 家庭での廃棄方法を確認ください】

使用済みインスリン注射針の 取り扱いにご注意!!

在宅医療の推進により、患者さん自らがご家庭や外出先でインスリンを投与することが多くなっています。その時に使用された注射針が、オフィスビル、ホテル、ショッピングセンター、空港など多数の方が利用される場所へ不適切に捨てられているケースがあり、清掃従事者などがその針で身体を刺す事例が報告されています。



医療機関で処方時に、必ず患者本人と処理方法を決めておきましょう

薬局や、地域によっては医師会などが自主的に回収を行っている地域もあります。確認しておきましょう。



針廃棄時の注意事項を必ず指導しましょう。

- ☑ 針ケース(キャップ)をつける。
- ☑ 針が突き抜けないよう、硬い容器に入れる。(ペットボトルの場合、やわらかくない物)
- ☑ 針が突き抜けないくするため、針を容器に詰め込まない。(容器の 8 分目程度以上入れない)
- ☑ 針が散らばらないよう、しっかりフタができる容器に入れる。
- ☑ 誤って資源ごみに出さないよう、容器に目印をつける。(ラベルを貼るなど)

病院等に持ち込まれ受け取る際、自身に針が刺さらないよう注意しましょう。

- ☑ 可能なら患者さんに直接廃棄容器に捨ててもらう。
- ☑ トレイ等で受け取り、そのまま廃棄容器に捨てる。(持ち込まれた針入り容器に直接触れない)

[出典・参考資料]

公益社団法人 日本糖尿病学会 湘南中央病院 針などの廃棄方法について
公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会 日本医師会「在宅医療廃棄物取り扱いガイド」